

年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆さんと健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、多くの皆さんにご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。市民の皆様の声を市政に反映し、元気で住みやすい渋川市をめざし、全力で頑張る決意です。今年も、渋川市議会議員選挙に4期目の挑戦の年となります。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

責任ある発言と行動で元気な渋川に！

アベノミクスによる財政出動と金融緩和で円安・株高になっているとはいえ、景気が上向いている実感はあまりありません。昨年、安倍首相はアベノミクスの是非を問うとして衆議院の解散に踏み切り、与党が3分の2以上の議席を獲得しました。しかし、実質賃金は14カ月のマイナスであり、特に中小企業は原材料や資材の高騰により値上げが追い付かず、厳しい経営を強いられています。また、消費税率の先送りにより、子育て支援や高齢者福祉などの財源も心配されます。

本市では、公共施設等総合管理計画の策定を進めています。厳しい財政状況の中で、事業の効果と必要性をしっかりと検証しなければなりません。また、人口減少対策や高齢化社会に対応した施策も重要な課題であり、責任ある発言と行動で元気な渋川を目指します。

議会改革では、市民に理解と信頼される議会とするために、今後も積極的に取り組んでいきます。最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶とします。



渋川市議会議員
しのだ 徳寿

[後援会事務所]
大同特殊鋼(株) 渋川工場労働組合内
TEL 0279-23-5198
FAX 0279-24-3820
ホームページ
<http://geo.t-shinochan55.com/>
篠田徳寿でも検索できます。

12月定例会が11月28日から12月11日まで開催され、慎重審議の結果、原案の通り可決されました。主な内容は次の通りです。

渋川市固定・移動系防災行政無線 システム整備工事請負契約の変更

防災行政無線の屋外拡声子局設備を北橋地区大正橋周辺に増設、再送信子局設備を五輪平に増設するものです。また、移動局設備については、60局を40局に変更し、車載の移動局設備はなくなります。

これにより、契約金額は9億6180万円から9億6165万3000円となりました。



防災行政無線アンテナ

渋川市行政センター設置条例を制定

総合支所のあり方に係る基本方針に基づき、平成27年4月1日に各総合支所を行政センターにするための条例制定です。

行政センター所管事務については、高齢者などの本庁に出向くことが困難な方や身近なところで行政手続きや相談が行えるように、地域に密着した機関として、窓口サービスに特化した事務事業を所管することとし、タブレット端末を利用した市政相談員も配置されます。

渋川市交流促進センター等指定管理者に ケープビックス株式会社を選定

渋川市交流促進センター及び渋川市小野上農林漁業体験施設の指定管理者の応募を行った結果、1法人から応募があり、ケープビックス株式会社を選定しました。指定期間は、国庫補助事業の関係で平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間です。指定管理料は5年間で1152万9000円です。今後、地域を活性化させる施設運営と更なる市民サービスの向上を期待します。



交流促進センター(SUN おのがみ)



小野上農林漁業体験施設

たちばなの郷城山及び北橋温泉ばんどうの湯 指定管理者に株式会社邦堂を選定

茨川市たちばなの郷城山及び茨川市北橋温泉ばんどうの湯の指定管理者の公募を行った結果、2法人から応募があり、候補者選考委員会において、株式会社邦堂を選定しました。選定理由は、企業の特徴である料理を前面に出した事業内容や地域観光の拠点として事業を展開していく姿勢が高い評価を受けました。今後、地域の活性化と市民サービスの向上を期待します。

指定期間は、公共施設あり方検討会の方針が平成28年3月までに示されることから、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間です。また、3年間の指定管理料は、7534万1000円です。



たちばなの郷城山



北橋温泉ばんどうの湯

高度放射線治療装置（リニアック）の活用

現在、リニアックは両病院に設置されていますが、西群馬病院が保有するリニアックは、導入から22年を経過しており、機能も限定的であるため、茨川総合病院のリニアックを茨川医療センターで活用できないか検討した結果、現有機器の更新（アップグレード）という形を取れば、新規購入に比べ導入コストを抑えることが可能であるという結論に達しました。今回アップグレードすると、機器本体、サーバー及びコンピュータ機器等を交換すれば、最新型として使用できるものであり、調達コストを抑制できます。概算費用の比較では、新規購入で5億3000万円、アップグレードでは3億円となりますが、周辺機器の移設費用等で1000万円、撤去費用等で500万円が必要で



高度放射線治療装置（リニアック）



スタッフルーム

台湾彰化県社頭郷と「観光分野」における 友好協力に関する協定書」を締結

本市の観光基本計画の後期計画において、「伊香保温泉を核とした外国人観光客への対応力強化」を施策として掲げています。伊香保温泉における外国人宿泊者数は、平成21年度の1789人に対し、平成25年度には6191人と大幅に増加しています。更なる外国人誘致を推進するため、観光戦略会議を立ち上げ、戦略目標の「伊香保温泉年間宿泊者数140万人」の実現に向けて、各種プロジェクトの計画や検討を行っており、今後は自治体間相互で協力することで、誘客拡大につなげていく方針です。

このたび、台湾からの観光誘客促進に向け、市長が台湾を訪問した際に「観光分野における友好協力に関する協定書」を彰化県社頭郷と締結しました。

＊社頭郷の人口4万3866人、戸数1万2622戸
面積36平方キロメートル

赤城の湯ふれあいの家改修工事を未執行

赤城の湯ふれあいの家を利用するため、道路を横断しようとした利用者が、車両にはねられ死亡する事故が2件発生し、市では様々な安全対策を実施してきましたが、赤城地区地域審議会において、道路横断が不要となる抜本的な対策を検討するよう要望が出されました。

市では、道路横断をすることなく施設を利用できるよう、玄関を南側に移設させ、駐車場を変更する方策により、対応することとし、改修工事が平成25年度12月議会で議決され、平成26年度への繰り越し事業となっています。

この改修工事に関連して、地元から駐車場の現状維持と手押し信号機の設置を求める請願が出され、安全対策調整会議を設置しましたが、合意には至っていません。

歩行者専用信号の設置については、直接市長から茨川警察署長あてに設置要望書を提出しましたが、設置不可の回答が文書で提示されました。

以上のことを受け協議した結果、今後の方針として、改修工事については未執行とする。安全対策の方策については、引き続き調整会議で検討していくことになりました。

公共施設等総合管理計画（案）が示される

更新費用の将来推計として、全ての公共施設等について更新を行うと、今後30年間で約2430億円が必要となり、通常の維持補修等の費用も含めると、総額で約2510億円が必要となります。一方、充当可能な財源は、今後30年間で総額約1938億円であり、約572億円の財源が不足となります。

公共施設等マネジメントに関する基本方針として、このような状況を踏まえ、公共施設等を計画的に管理していくための基本方針（点検診断等の実施、安全確保の実施、維持管理・修繕・更新等の実施、長寿命化の実施、統合や廃止の推進、耐震化の実施など）を定めることとなります。